［様式９－１］

福祉サービス等第三者評価結果

総 合 評 価

受診施設名	くすのき保育園	施設種別	保育所 （旧体系：　　）
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成　２８年　３月　２日

総　　評	「くすのき保育園」は、八幡市の木津川沿いに立地し、八幡市内を中心に４０年以上に渡り社会福祉事業に携わっている社会福祉法人若竹福祉会により、平成19年に公立から民間へ運営主体を移管された保育園です。法人内には他に子ども向けサービスとして3つの保育園と高齢者向けサービスとして在宅介護総合支援センター、地域包括ケア複合施設を運営しており、人材育成や会議の持ち方等によりよい組織運営を志す工夫が見られます。 保育内容では、「雑草のようにたくましく、野辺に咲く可憐な花のように、やさしく愛らしい子に育てる」という基本方針に基づき、八幡山や木津川の堤防など周辺環境を活用した園外保育や日課として実施されている運動サーキット遊び等、伸び伸びとした子どもの育成を目的とするさまざまな取り組みが行われています。 また、子育てサポート（相談事業）、一時保育、「赤ちゃん広場」「くすのき広場（園庭開放事業）」といった取り組みによって地域の親子ふれあいの拠点としての機能を有しています。 利用者の満足度も高く、地域に根ざした保育がなされています。
特に良かった点（※）	・管理者は自らの役割と責任を職員に表明しています。特に「管理職に望む姿」を職員に求め話し合える雰囲気を作り、職員一人ひとりの仕事のやりがいを創出していくように努めています。 ・全体会議のはじめに食育ミーティングを行い、保育士、調理師、栄養士の連携を図っています。また、実物の食材を使って展示し、子どもたちに食への興味を促しています。 ・児童虐待防止マニュアルがあり、職員研修も定期的に行われています。八幡市家庭児童相談室との連携記録も確認でき、一人ひとりの事例に丁寧に対応しています。
特に改善が望まれる点（※）	・不審者侵入時に対するマニュアルが有り、職員にも周知していますが、今後、職員配置など何らかの侵入防止対策を講じられると良いでしょう。 ・子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整える努力がなされていますが、時節に応じた掲示物や飾りにするなど工夫されると良いでしょう。（Ⅳ―１－（２）①）

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

【保育所版】
評価結果対比シート

受診施設名	くすのき保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成２８年　３月　２日

保育所評価基準　対比シート

Ⅰ　福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅰ－１ 保育の理念・基本方針・目標	Ⅰ－１－（１） 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	①	保育の理念が明文化されている。	A	A
		②	保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	Ⅰ－１－（２） 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	①	保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		②	保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
Ⅰ－２ 計画の策定	Ⅰ－２－（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	①	中・長期計画が策定されている。（非該当）		
	Ⅰ－２－（２） 保育の計画が適切に策定されている。	①	保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		②	保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④	保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤	保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
Ⅰ－３ 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅰ－３－（１） 管理者の責任が明確にされている。	①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	Ⅰ－３－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。	①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

［自由記述欄］

・保育の理念が確立され、それに基づく基本方針・保育目標が明文化されています。園のしおりやホームページに掲載され利用者へ周知する努力をしています。

・保育課程は保護者の意向をくみ取り、教育的要素も取り込むなどの見直し改善をしています。現在は保育課程と指導計画の整合性に注力されていますが、今後は保護者に保育内容をより知ってもらう取り組みが推進されると良いでしょう。

・管理者は自らの役割と責任を職員に表明しています。特に「管理職に望む姿」を職員に求め話し合える雰囲気を作り、職員一人ひとりの仕事のやりがいを創出していくように努めています。

Ⅱ　組織の運営管理

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。	①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている	①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
	Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
	Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
Ⅱ－３ 地域との交流と連携	Ⅱ－３－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	Ⅱ－３－（２） 関係機関との連携が確保されている。	①	必要な社会資源を明確にしている。	A	A

［自由記述欄］

・新規採用の職員には年間３回の研修を実施しています。また、職員一人ひとりの育成計画（個別チェックリスト）が策定され、今の仕事が自身のキャリアアップにどうつながるかを常に考えるよう意識づけられています。

・職員の質向上のための外部研修への参加は積極的に推奨されています。研修報告は管理職に提出され、会議内でフィードバックがなされています。

・乳児対象の「赤ちゃん広場」では、生活習慣を整えるための離乳食講座を月１回、第２水曜日に開いています。また、地域の子どもたちをを対象としている園庭開放事業「くすのき広場」も月１回、第３水曜日に開催し事業所が有する機能を地域に還元しています。

・夏まつりやクリスマス会、卒業アルバム制作など保護者会の活動があります。近隣の自治会との交流事業や老人クラブとの「敬老のつどい」もあり、地域の医療関係者や民生委員と連携を図っています。

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	①	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ－１－（２） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	①	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		②	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	①	定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	B
		②	定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ－２－（２） サービス実施の記録が適切に行われている。	①	入園面接･健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。	①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		②	保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	①	転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

［自由記述欄］

・利用者の状況等に関する情報は、ケース会議、主担当会議、全体会議、連絡ノートで共有されています。

・利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、利用者からの苦情に対しても適切に対応しています。

・サービスの質の確保のために、職員の自己評価チェックリストを利用しています。結果を基に管理職と職員間で面接をし業務に活かす試みも実施しています。第三者評価の受診は５年に１度、定期的に受診されるとなお良いでしょう。（前回受診：平成２０年度）（Ⅲ―２－（１）①）

Ⅳ-1　子どもの発達援助

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅳ－１ 子どもの発達援助	Ⅳ-１-（１）健康管理・食事	①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	Ⅳ-１-（２）保育環境	①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	Ⅳ-１-（３）保育内容	①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・全体会議のはじめに食育ミーティングを行い、保育士、調理師、栄養士の連携を図っています。また、実物の食材を使って展示し、子どもたちに食への興味を促しています。

・食事を楽しむことができる工夫として、給食準備時間に食べ物にちなんだ歌を歌ったり、クイズを実施するなど和やかな雰囲気を作り出しています。

・感染症対策として流行前に看護師による職員研修が実施されています。また、感染症対応マニュアルが全職員に配布されています。

・子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整える努力がなされていますが、時節に応じた掲示物や飾りにするなど工夫されるとなお良いでしょう（Ⅳ―１－（２）①）

・１８時以降の延長保育においては、子どもがくつろげるような保育環境が整備され、職員間の引き継ぎや保護者との連携を密にしています。毎日ヒヤリハット表を職員が記入し、必要に応じて家庭への伝達をしています。（Ⅳ－１－（３）⑩）

Ⅳ-2　子育て支援

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅳ－２ 子育て支援	Ⅳ-２-（１） 入所児童の保護者の育児支援	①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥	子どもの発達記録やケアー記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	Ⅳ-２-（２）一時保育	①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

［自由記述欄］

・個人面談週間を、年１回設け保護者との情報交換を行っています。また、五歳児については、就学前にも個人懇談行っています。入所児童の家庭状況を記録し必要な範囲で把握共有しています。

・児童虐待防止マニュアルがあり、職員研修も年１回行われています。八幡市家庭児童相談室と連携し記録するようにしています。

・一時預かり保育室を設置し、一時保育事業の周知と、利用者の入園前不安を解消する機能を果たしています。

Ⅳ-３　安全・事故防止

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅳ－３ 安全・事故防止	（１）安全・事故防止	①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	B

［自由記述欄］

・不審者侵入時に対するマニュアルが有り、職員にも周知していますが、今後、職員配置など何らかの侵入防止対策を講じられると良いでしょう。

・衛生管理、食中毒、事故対応など、それぞれ安全のためのマニュアルを整備し、職員に周知しています。関連する外部研修にも積極的に参加し、園内においては研修報告会や防犯訓練を計画に基づき実施しています。